

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
80

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (令和7年8月20日発行)

SUMMER 2025

副会長就任挨拶



小寺 洋志 裕

この度、副会長の大役を拝命いたしました、(株)コデラの小寺洋志裕でございます。身に余る光栄であると同時に、責任の重大さに対し身の引き締まる思いでいっばいでございます。

全鉄筋での担当部所は、引き続き外国人受入事業委員会の委員長と、経営委員会副委員長を担当いたします。外国人受入事業委員会においては、これまでの実習生受け入れ事業、特定技能支援事業とともに、2027年には法改正が実施され、監理支援機関の許可基準が厳格化されることが予測されます。公益社団法人が運営する監理支援機関として、他の模範となるよう法令順守の元、時代のニーズに

マッチした組織、運営を構築してまいりたいと思っております。また、経営委員会においては、我々の業界が直面する様々な課題についての方向性を提示することを目的としていたしておりますが、やはり最優先に取り組みなくてはならない課題は、業界の処遇改善への取り組みであると思います。幸いにも、物価高の折、それを克服するには賃金の上昇が不可欠であるとの世論のフォローの風の吹く中、今が千載一遇のチャンスであると思います。来る60周年記念事業を契機として、この機運を盛り立てていかな

くてはと思っております。平成19年に初めて全鉄筋の理事に就任して以来、早、18年の月日が経ちました。あと残り1期2年が、私の全鉄筋での最後の役回りであると感じております。次世代の人たちに、色々大変な時期もあったけど、まあまあ状態で渡せたかな！その言葉を目標に、岩田会長をお支えしながら、副会長として2年間尽力いたす所存でございますので、引き続きの皆様のご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

褒章 黄綬褒章



國井 均 様

(公社)全国鉄筋工事業協会
常務理事
静岡県鉄筋業協同組合
理事長
株式会社芳和建設工業
代表取締役



飛田 良樹 様

(公社)全国鉄筋工事業協会
元常任理事
協同組合東京鉄筋工業協会
理事相談役
飛田鉄筋工業株式会社
代表取締役社長

令和7年 国土交通大臣表彰



▲農口様

左から、森山様、古澤様、清水様、山本様

山本 信二 様

(公社) 全国鉄筋工事業協会

愛媛県鉄筋業協同組合
常任理事
株式会社山鐵
代表取締役

清水 敬央 様

(公社) 全国鉄筋工事業協会

愛知鉄筋業協同組合
常任理事
株式会社アイテツ
代表取締役

古澤 英樹 様

(公社) 全国鉄筋工事業協会

福岡県鉄筋事業協同組合
副理事長
株式会社マルシヨウ鉄筋工業
代表取締役

森山 直樹 様

関西鉄筋工業協同組合
副理事長
株式会社城東鉄筋
代表取締役

農口 隆光 様

熊本県鉄筋事業協同組合

株式会社ノーグチ
副理事長
代表取締役

第14回 (通期第40回) 社員総会

令和7年6月13日(金) ホテルインターコンチネンタル東京ベイ5階

一、開会の辞 (公社)全国鉄筋工事業協会 副会長 新妻 尚祐

一、会長挨拶 (公社)全国鉄筋工事業協会 会長 岩田 正吾

一、令和7年度功労者表彰 (公社) 全国鉄筋工事業協会会長賞 (敬称略)

氏名	会員名	会員役職	所属会社/役職
益子 藤男	茨城県鉄筋業協同組合	理事	(株)益子鉄筋工業代表取締役社長
熊倉 忠弘	新潟県鉄筋業協同組合	理事	(有)熊倉鉄筋代表取締役
沼田 三郎	山梨県鉄筋工事協同組合	理事長	(株)沼田鉄筋代表取締役会長
山口敬一郎	宮崎県鉄筋業組合	副理事長	(有)山口鉄筋代表取締役社長
東 松男	鹿児島県鉄筋業組合	理事長	(株)小原鉄筋工業取締役副社長

議案

第1号議案 令和6年度事業報告、並びに会計決算報告 承認の件

第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算書 承認の件

第3号議案 役員の改選 承認の件

一、第2回理事会報告

幹部役員(兼務執行理事(事業委員長)の選任 承認の件

一、閉会の辞 (公社)全国鉄筋工事業協会 副会長 飯島 勉

一、講演…30分

「建設業の現状と課題」

講師…国土交通省 不動産・建設経済局 局長 平田 研 様



岩田会長

総会

岩田正吾会長を再任

全鉄筋

全国鉄筋工事業協会(全鉄筋)は13日、社員総会を東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開き、役員改選で岩田正吾会長を再任した。副会長に小寺洋志氏(コデラ会長)を連任。新妻尚祐(新妻鋼業社長)、宮村博良(宮村鉄筋工業会長)の両副会長は前任した。専務理事に熊谷誠一氏(丸正誠伸鋼業社長)、常務理事に國

井内氏(芳和建設工業社長)が就いた。冒頭、岩田会長は鉄筋工事業の従事者について「都道府県では3割が外国人となっており、5〜10年後には5割を超えるだろう。外国人の確保は先進国で課題となっている」として、国際的な視野から業界を俯瞰(ふかん)する必要性を説いた。「たぐさんの課題が見える化する評価制度の運営を継続するほか、海外実習生向けの講習も行う。総会に続き、国土交通省の平田研不動産・建設経済局長が「建設業の現状と課題」をテーマに講演した。

日刊建設工業新聞2025年6月16日

ご退任役員



業界発展に全鉄筋の役員として、
長きにわたる多大なご貢献に感謝いたします。
お疲れ様でございました。

理 事 (副会長) 飯島 勉
愛知鉄筋業協同組合 相談役理事
飯島鉄筋工業(株) 代表取締役社長

理 事 (常任理事) 飛田 良樹
協同組合東京鉄筋工業協会 理事相談役
飛田鉄筋工業(株) 代表取締役社長
(敬称略)

公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 役員 (令和7年6月13日理事会決議)

(敬称略)

役 職	氏 名	団体名	会社名
会 長	岩 田 正 吾	関 西 協	正栄工業(株)
副 会 長	新 妻 尚 祐	東 鉄 協	新妻鋼業(株)
副 会 長	宮 村 博 良	福 岡	(株)宮村鉄筋工業
副 会 長	小 寺 洋志裕	石 川	(株)コデラ
専務理事	熊 谷 誠 一	北 海 道	丸正誠伸興業(株)
常務理事	國 井 均	静 岡	(株)芳和建設工業
常任理事	岑 直 樹	宮 城 県	松永鉄筋工業(株)
常任理事	樋 脇 毅 二	愛 媛 県	高千穂鉄筋(株)
常任理事	山 本 信 二	愛 媛 県	(株)山鐵
常任理事	中 川 六 雄	関 西 協	(株)中铁
常任理事	清 水 敬 央	愛 知 県	(株)アイテツ
理 事 事	蟹 澤 宏 剛	会 員 外	芝浦工業大学建築学部建築学科
理 事 事	井手口 勉	佐 賀 県	(株)井手口鉄筋
理 事 事	神 田 幸 夫	新 潟 県	神田鉄筋工業(株)
理 事 事	根 本 勝 則	福 島 県	(有)根本錦鉄筋工業所
理 事 事	柳 澤 庄 一	会 員 外	(一社)建設産業専門団体連合会
理 事 事	古 澤 英 樹	福 岡 県	(株)マルショ-鉄筋工業
理 事 事	坂 本 竜 二	広 島 県	(株)坂本工業
理 事 事	工 藤 桂 一	神 奈 川 県	(株)イー・ケー・エス
理 事 事	竹 光 勇 人	岡 山 県	(有)竹光建設工業
理 事 事	加賀美 武 夫	会 員 外	(職)全国建設産業教育訓練協会
理 事 事	田 村 一 夫	岩 手 県	(有)田村鉄筋工業
理 事 事	田 中 毅 毅	関 西 協	(株)関西スチールフォーム
理 事 事	早 川 謙 太郎	鉄 工 協	(株)日新鉄筋
監 事 事	松 本 浩 樹	会 員 外	東陽建設工機(株)
監 事 事	大 平 智 彦	茨 城 県	(株)大平組

組合紹介

高知県鉄筋業協同組合

高知と言えば「カツオ」があまりにも有名ですが、最近の話題といえば、朝ドラ「あんぱん」の主人公「小松暢(朝田のお)」の夫であり、知らない人はいないであろう「アンパンマン」の作者の「やなせたかし」の出身県であるということではないでしょうか。高知県は、四国の南側、太平洋を望む東西に長い自然と山の幸、海の幸に恵まれた温暖な土地です。しかしながら四国の県の中でも中央へのアクセスが特に悪く、陸の孤島とも揶揄されることもしばしばあります。近年は朝ドラ「らんまん」(牧野富太郎)、現在放送中の「あんぱん」(やなせたかし)の効果もあり、観光地として着実な人気を獲得しております。インバウンド需要も相まって、有名ホテルチェーンの県内進出など、近年には見られなかった建設ラッシュが始まっている状況です。RC造・S造の物件が多く、鉄筋工事を担う我々も、これから忙しくなることは必至であります。

このような観光需要の高まりはもちろんですが、日々の流通の面に目を向けますとどうしても、高知県は四国の他3県と比べまして、首都圏との間の交通の便が地理的に不利な状況なのは否めません。そのギャップを埋めてくれる最終手段が「四国新幹線」ではないかと期待をせずにはいられません。

そんな中、今年2月に前代表の梅原氏の後を引き継ぎまして、私三橋が新代表に就任させて頂き、新副理事長と合せて、高知県鉄筋業協同組合は大幅な若返りを図ることとなりました。実は新代表を仰せつかりました私は、この鉄筋業界一筋の人間ではございません。以前は、畑違いの医療業界に身を置いておりました。その経験を活かしまして、この業界を違った角度から見てみますと、労働環境・福利厚生面から、この業界では、他業種において「ふつう」の事が決して「ふつう」になっておらず、若年者の雇用に向けての課題が見えてきております。解決するのは容易なことではありませんが、高知出身の「坂本龍馬」に習って革新的な手法(建設DX等)も取り入れながら、高齢化と人口減少に負けずに、若い力を発掘し、鉄筋工事を通して地方から建設業を魅力ある業界になるよう盛り上げて行きたいと考えております。

全国の鉄筋業組合員の皆様、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



藤丸 敏 衆議院議員



齊藤鉄夫
前国土交通大臣 公明党代表



中山泰秀 全鉄筋顧問



伊藤孝江 参議院議員



藤川眞行 厚生労働省審議官



廣瀬昌由 国土交通省技監

一、会長挨拶 (公社) 全国鉄筋工事業協会 会長 岩田 正吾

一、御来賓挨拶

前国土交通大臣 公明党代表 齊藤 鉄夫 様

衆議院議員 衆議院厚生労働委員長 藤丸 敏 様

参議院議員 公明党国会対策筆頭委員長 伊藤 孝江 様

全鉄筋顧問 衆議院前議員 中山 泰秀 様

国土交通省 技監 廣瀬 昌由 様

厚生労働省 職業安定局 高齡・障害者雇用開発審議官 藤川 眞行 様

乾 杯 (一財)建設業振興基金 理事長 谷脇 暁 様

一、御来賓 紹介

一、退任理事/新任理事 紹介

一、褒章

令和7年春 飛田 良樹 協同組合東京鉄筋工業協会 理事相談役

黄綬褒章 常任理事 飛田鉄筋工業株式会社 代表取締役社長

令和7年春 國井 均 静岡県鉄筋業協同組合 代表取締役社長

黄綬褒章 常任理事 株式会社芳和建設工業 代表取締役

一、手締め (公社) 全国鉄筋工事業協会 副会長 宮村 博良

ご 歓 談

各地区広報活動報告

千葉県鉄筋業協同組合 千葉県鉄筋業協同組合では千葉県内に建設科を有する瀬戸部手の高校(東総工業高校、京葉工業高校、市川工業高校)で出前講座を開催しています。

平成21年度の出前講座からはじまり、15年以上続く当組合では大変重要な催しで、この講座をきっかけとした新規入職者も複数名おります。

内容としては、鉄筋工事の概要や歴史の講義から始まり、技能検定2級もしくは3級のモックアップ組立体験、ガス圧接継手及び機械式継手の体験、BIMやロボットなど最新技術の紹介、講師とのディスカッションを実施します。

令和5年度までは3年生を対象に6月実施でしたが、令和6年度より2年生を対象に秋季開催に変更しました。2年生の秋頃は進路希望調査の時期とも重なり、

鉄筋工事を選択肢の1つにしてもらえようにと考えた変更でした。

出前講座で鉄筋工事に興味を持って、インターンシップの参加や技能検定の受験、さらにはより多くの入職に繋がるよう、これからも魅力を発信していきます。



愛媛県鉄筋業協同組合 組合では、平成25年より継続して、専門高校を対象とした出前講座を東・中・南予、工業系専門高校で年5回、実施しております。この取り組みは、ものづくりの現場である鉄筋工事の重要性や魅力を、将来を担う高校生に直接伝えることを目的としています。

講座では、実際の鉄筋施工の工程や技術について体験を交えながら説明し、鉄筋が社会インフラを支える根幹であることを、実感をもって理解してもらう内容となっています。特に「つくる楽しさ」や「支える誇り」といった、ものづくりの本質的なやりがいを重視して伝えています。

また、こうした活動を広く知っていただくためのメディア戦略として、南海放送テレビ「Beans MORNING (ビーンズ・モーニング)」にも取り上げていただきました。番組内では、高校生たちの真剣な姿や、鉄筋組合の取り組みが紹介され、地域社会への広報効果も高まりました。

さらに、出前講座を通じて、女性でも安心して働ける環境が整ってきていることを積極的に発信し、多様な人材が活躍できる職場としての鉄筋業界の姿を示しています。これにより、鉄筋業を「入ってほしい業界」から「入りたい業界」へと変えていくことを目指しています。本年度は5名の高校生が組合会員3事業所に入職されました。また、3事業所さんは、新入社員研修として富士教育訓練センターで鉄筋技能訓練(資格取得やマナー教育)を受講させています。現在、鉄筋技能工の卵として頑張っています。

今後も出前講座の継続とともに、メディア・教育機関・地域社会との連携を深め、業界の魅力を次世代に発信し続けてまいります。



現地では、鉄の製造工程について詳しく学ぶことができ、スクラップから高品質な鉄製品が生み出されるまでの一連の流れを、実際の現場を通して理解することができました。

また、日本の鉄鋼産業が歩んできた歴史や、現在における技術革新・省エネ・環境対策などの取り組みについても知ることができ、鉄筋業界の根幹を支える鉄づくりの奥深さと重要性を改めて認識しました。

今回得た学びは、現在組合で力を入れている専門高校への出前講座において、より具体的かつ実感をもって高校生に伝えるための貴重な材料となります。

鉄筋業の魅力や、業界全体の流れを次世代へと伝えていくために、今回の経験を今後の活動にしっかり活かしていきたいと考えております。



「建設災害防止パトロール」 鉄筋組合では、(県)建設災害防止協会のもと、会員事業所の現場を定期的に安全パトロールを実施しております。

この活動は、現場における労働災害の未然防止を目的とし、安全意識の向上と、事故のない現場づくりを目指すものです。

現場の安全点検に加え、パトロールでは作業環境の整備状況や、従業員の就労環境にも目を向けています。

各企業が進める働き方改革や、より良い職場づくりへの取り組みを紹介し、現場全体の意識向上につなげていくことも大きな目的の一つです。

今後も、災害防止はもちろんのこと、快適で持続可能な職場環境の実現を目指し、パトロール活動を通じた情報発信と意識啓発に努めてまいります。



「JFE条鋼株式会社 岡山水島工場 視察」 2023年11月25日 組合親会・青年部合同でJFE条鋼株式会社水島工場を視察させていただきました。



有限会社出井興業
(岡山県鉄筋協同組合)
岸田彩花さん
Ayaka Kishida



今号より、「小粋な職人」と題し、女性技能者へのQ&Aをシリーズ化して掲載することになりました。

その第1段として、第5回全国鉄筋技能大会（TETSU-1グランプリ）にも出場した、有限会社出井興業（岡山県鉄筋協同組合）の岸田彩花さんにインタビューをしました。

Q. 自己紹介をお願いします。

はじめまして。岡山県在住の岸田彩花です。鉄筋技能士としては、今年で11年目を迎えます。

現在は3人の子供を育てながら、住宅・大型施設・公共工事まで幅広く携わらせていただいています。

Q. どの様な経緯で入社されたのですか？

母が鉄筋工として、働いていたので、入社しました。

現在は母が社長です。入社当時は祖父が社長でした。



Q. 男性技能者と体力面や待遇面で差を感じることはありましたか？

体力面での差は確かにありますが、それを理由に諦めたくないという思いが強く、道具や段取の工夫次第で、効率よく作業できる方法を身につけて自分なりにカバーしてきました。

待遇面に関しては、私の母も職長をしているので、性別に関係なく、成果や経験に応じた待遇を受けていると感じています。

ただ現在は、小さな子供がいて、朝の送りや急な体調不良などで遅れることもあり、現場をまとめる立場としては、難しいと感じることがあります。

Q. 結婚や出産、子育てと仕事の両立で大変だったことはありましたか？

子育てと仕事を両立するにあたって、時間的、体力的な負担は大きく、周りと同じペースで働くのは正直大変です。

朝は、子供を送り出してから、現場に向かうため、朝礼に間に合わないこともあります。また、子供の体調不良などで、早退や欠勤が必要になることもあり、スケジュール調整には常に苦労しています。

Q. TETSU-1グランプリへの出場のきっかけと、出場後の変化はありましたか？

岡山県TETSU-1グランプリの予選会で1位になったのがきっかけです。

出場後は、元請けさんに、見たよと声をかけ

けてもらえるようになりました。

Q. 女性技能者が今後活躍するために必要な環境や課題等はあると思いますか？

また、貴社の女性技能者に対する環境は恵まれていると思いますか？

女性用トイレは、大手の会社は100%で全く問題がないです。

地場の小さい現場は、ほぼトイレは共用です。地場の小さい現場も女性用トイレがあれば、コンビニ等に行かなくてもいいのと思っています。

弊社には、私も含め、子育てをしながらの職人が2人いますが、会社、一緒に作業する職人の方々は協力してくれるので、とても恵まれていると思います。



鉄筋基礎 (7)

入校式

開催日
2025年4月14日(月)

場 所
富士教育訓練センター

参加者数
24名



飯島教育訓練委員長



編集後記

先日、「国際女性エンジニアの日」の記事を読んでいますと「工学＝男性」の思い込みがイノベーションを止めている。理工系が女子の選択肢に挙がらない理由として「女子は数字が苦手」は思い込み。等書かれていました。男性は理系、女性は文系。そのようなイメージを強く思い込まれていた時代が長く続いたせいなのでしょう。

要因の一つに理工系を卒業した後の職業がよくわからず、かつ漠然とした男性イメージが強いことだから。進路を選択する際に生徒は何を決め手にしているのでしょうか。何より「興味」をもってもらい、自分にも出来るかもと「期待」をもたせる事が大事だと。そしてそのためには見せる事。今の中高生はやはり、TVではなくインスタ、YouTubeのメディアなのだそう。

日本の労働人口が毎年減少する中、若者や女性の活躍を必要としている企業は毎年増えています。建設業においても昔のイメージを持たれたまま入職の選択肢からはずされているかもしれません。

会員企業様におかれましては企業ホームページ制作、YouTubeの活用、また会員団体様による出前授業、建設フェスタ、イベント参加など、様々な場所でのPR活動をなさっていらっしゃる事と思いますが、そこに参加してくださった方だけでなく、鉄筋工の仕事について何も知らない方にも興味を持っていただき、現在の企業側の環境づくりの変化、仕事の魅力やおもしろさ、男女問わず働いている現状を知ってもらうためにも継続的なSNS発信も「見せる↓興味↓期待」につながり、入職の選択肢になるのかもしれない。

イメージを変えるには時間が必要ですが伝え続ける事で変わっていくことと思います。

皆川 則子

編集委員

委員長 岑 直樹(宮城)

副委員長 宮本ゆり子(山口)

木浪 裕子(北海道)

大港 成人(鉄工協)

松本 勝(静岡)

赤澤 栄徳(香川)

皆川 則子(北海道)

真里(神奈川)

矢竹 直司(東鉄協)

工藤 桂一(神奈川)

田浦 真一(関西)

汐田 洋(福岡)

斎藤 淑江(東鉄協)

女性活躍推進(兼任除く)